

瀬戸内海島嶼部5校合同研修会

1月15日（金）に本校視聴覚教室において、瀬戸内海島嶼（とうしょ）部5校合同研修会を開催しました。これは瀬戸内海に浮かぶ島嶼部5校の教職員・生徒が、地域課題解決型キャリア教育に取り組む先進事例を聞くことにより、それぞれの地域課題発見・解決に生かすとともに、各校の地域の特色を生かした継続的な交流会の在り方について協議する目的で、広島県立音戸高等学校・広島県立大柿高等学校・広島県立瀬戸田高等学校・愛媛県立今治北高等学校大三島分校・広島県立大崎海星高等学校の5校が参加しました。



研修会は二部構成で開催されました。第一部は講演会でした。講師に岐阜県立可児高等学校の浦崎太郎先生をお招きして「ふるさとを未来へ伝えるために～高校生への期待～」という演題で講演をしていただきました。

浦崎先生は中央教育審議会生涯学習分科会学校地域協働部会の専門委員もされている、学校と地域連携のエキスパートです。講演では「地域学習がなぜ重要なのか？」「自分たちの住む瀬戸内海の島にどのような可能性があるのか？」など様々なお話をいただきました。



第二部は生徒交流会です。5校の高校生がばらばらになってグループを再編成し、「大崎上島のフリーマーケット『オキウラマルシェ』に出店するなら、自分の学校・地域ではどんなことができる？」「自分の地域で各校の交流会をするなら、どんなことが考えられる？」という二つのテーマで意見交換をしました。